



ラオス国首都ビエンチャンにおける 公共バス利用促進に向けたPR活動

ラオスの現状と、バス交通のサービス改善の必要性

ラオスのバスと日本の援助

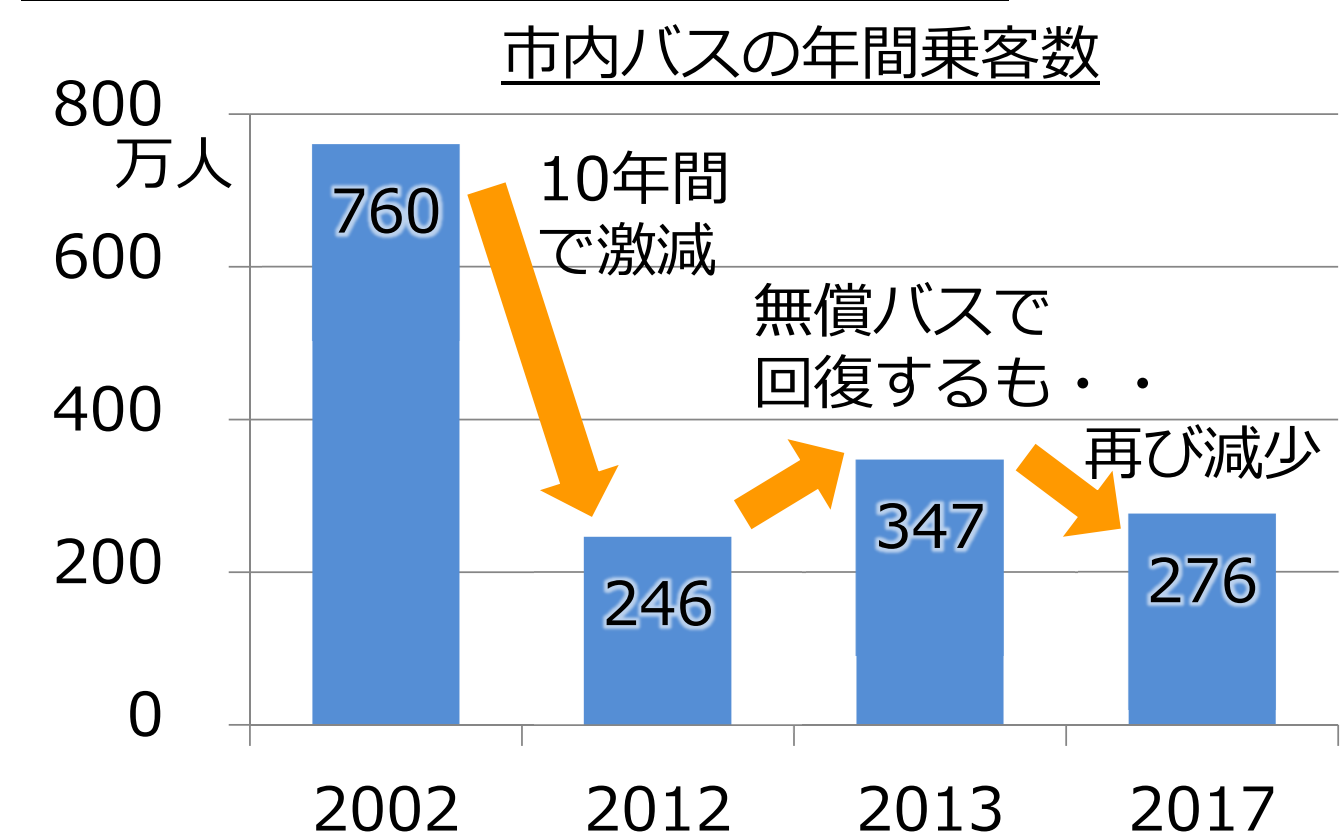
無償資金協力	
1978	バス29台の供与
1988	バス32台、マイクロバス18台
1989	バスターミナル、整備工場の建設
1999	バス26台、マイクロバス30台
2012	バス42台の供与



2012年に供与されたバス

技術協力プロジェクト	
12~15	ビエンチャンバス公社運営能力改善プロジェクト
16~19	ビエンチャンバス公社運営能力改善プロジェクト2

ラオスのバスは今・・・

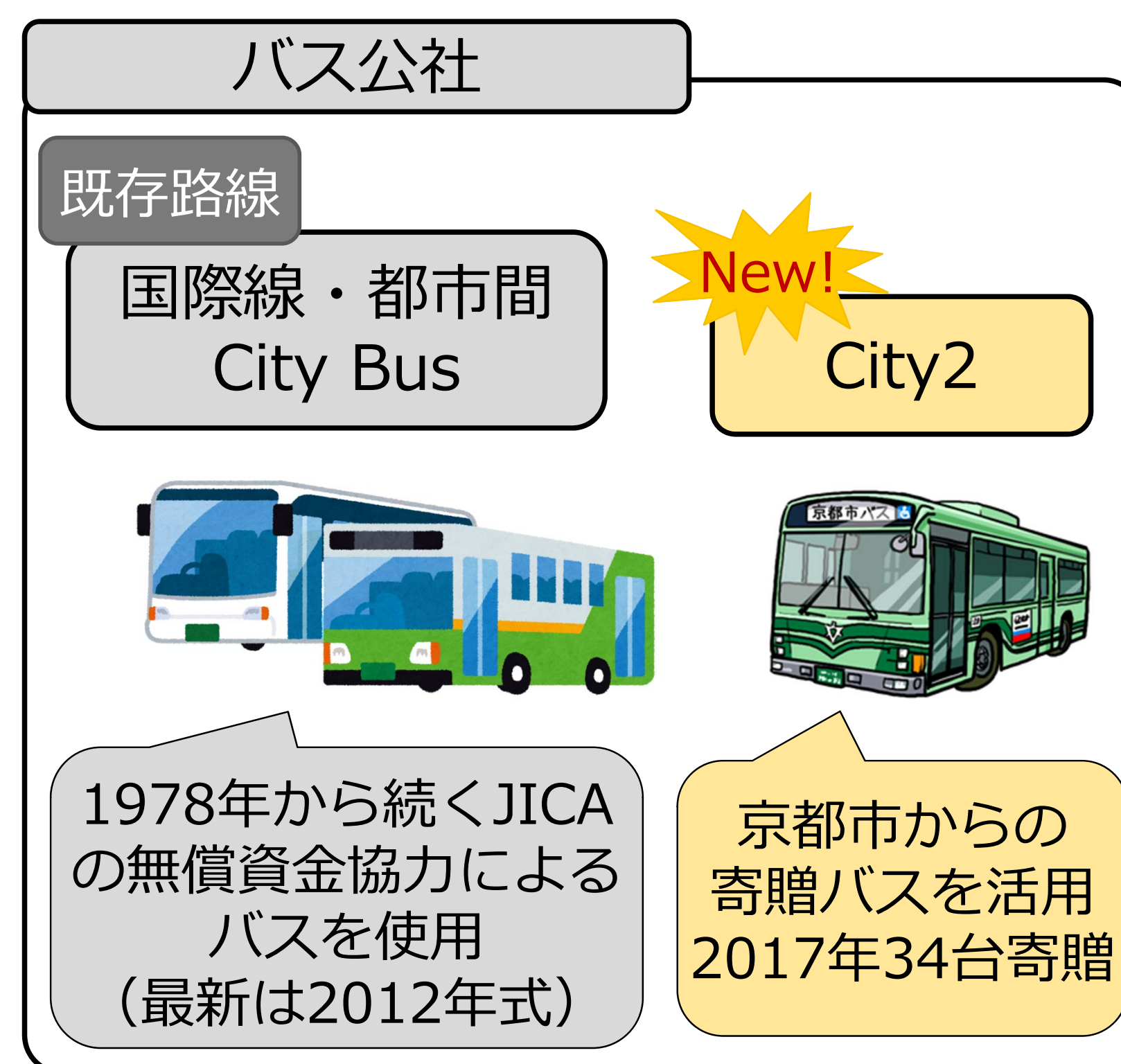


- 2012年に42台のバスが供与されたことで、一時的に乗客数は回復した。
- しかし、運行管理能力の欠如による欠便・ダイヤの乱れや、ドライバーの勤務態度や交通安全性がユーザーフレンドリーとはいえず、再び減少中。

MMでおすすめできない・・・

まずはハードから

全く違ったサービスを提供するために新しい組織『City2』をバス公社内に設立



City2のコンセプト



満足度の高いサービス

City2で運行を開始



京都バスが2路線を運行中

日本のようなサービスを提供



車内アナウンスするドライバーの姿はTVでも紹介



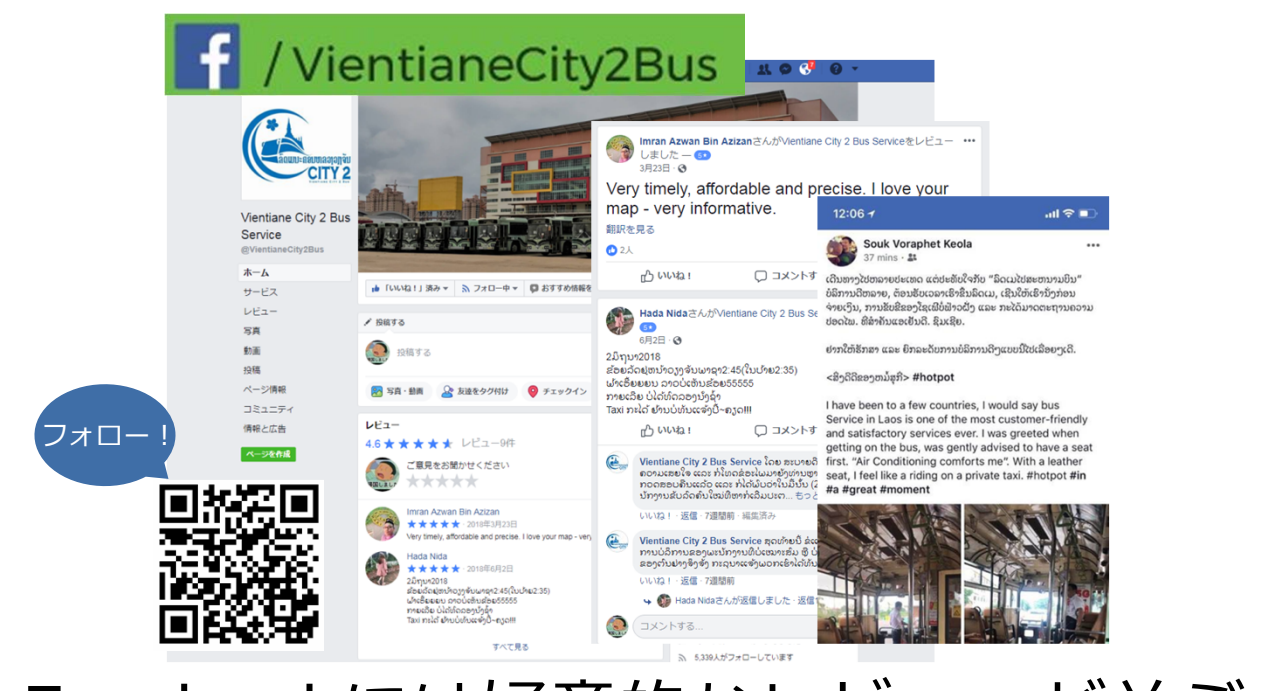
路線沿いの住人をターゲットに利用者数を拡大中 (ITECC線)



同乗する車掌は①料金収受②乗車記録③空港バス停でのガイド等を担当



空港線のメインターゲットは年々増加する外国人観光客



Facebookには好意的なレビューが並ぶ

PR/MM活動

集落・学校単位でセミナーを開催



バスの運行情報の紹介とバスの安全性を警察と共同でアピール
聞き入る周辺住民:上と学生:下の参加者

多岐にわたるPR活動

- 市内100以上のホテルにパンフレットの常設
- 子供のバス体験乗車
- HP/Facebook/Google Adwords
- フリーペーパー、ラジオ、テレビ取材
- 観光ガイドブックへの記載依頼 (ex. 地球の歩き方、Lonely Planet)



City bus trial gets into gear

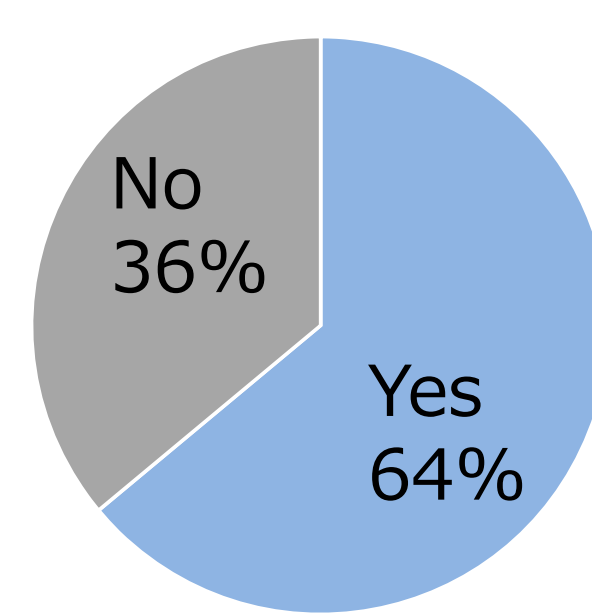
Free Bus Ride キャンペーン

2/2~2/4 ジャパンフェスティバルでITECC線を無料運行、アンケートを実施

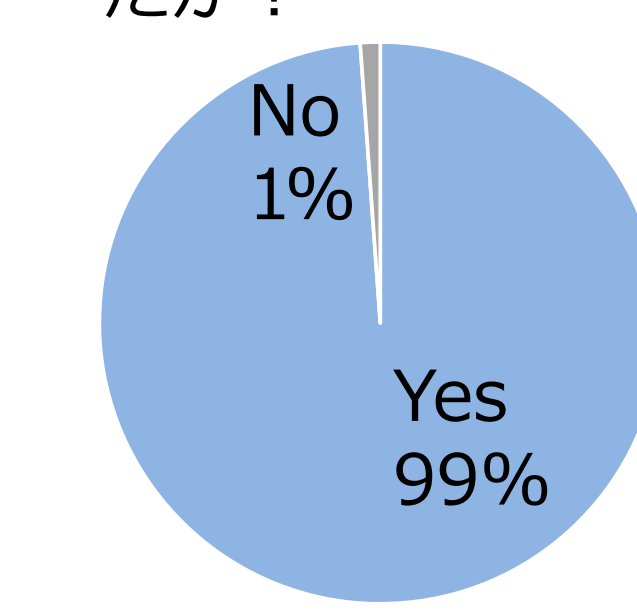


アンケートに答える乗客

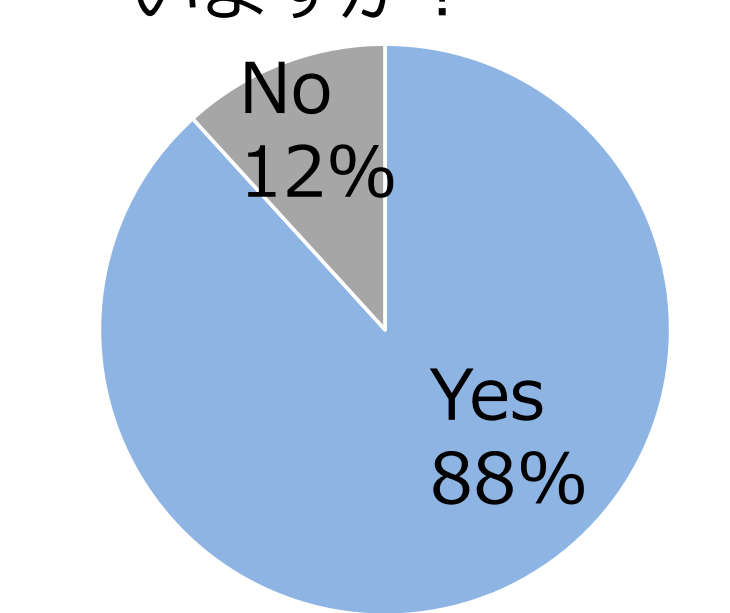
Q.この路線は初めてですか?



Q.今後バスを使おうと思える体験でしたか?

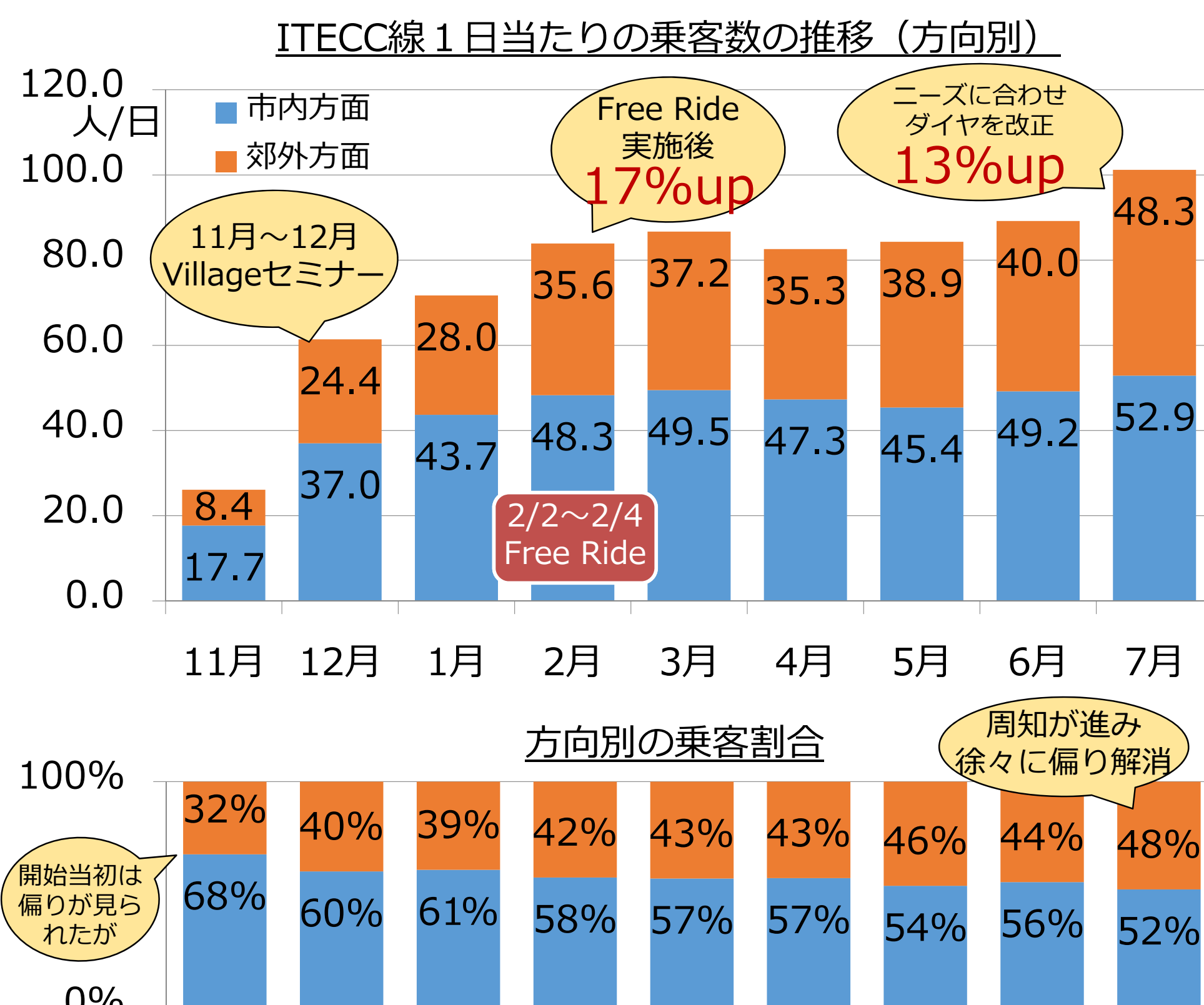


Q.公共交通が環境にいいことを知っていますか?



ほぼ全員が、今後、バスを使いたいと思うと答え、サービスへの満足度の高さが確認できた。また、公共交通が渋滞を削減できる、環境にいいということを現状では9割の人が知っていた。今後のMMによってよりいっそうの周知と、知識を行動につなげるようなアプローチが必要である。

乗客数の推移



今後の展望

パークアンドライドと職場MMに挑戦!

事前調査

- 政府職員に対してアンケート調査を実施
- 750部配布のうち415部を回収
- 質問内容: 自宅から職場までの通勤ルート/通勤交通手段、通勤時間、通勤支給額/パークアンドライドの利用可能性等

社会実験

- 415人の回答者のうち最多の90人が通勤路として使用している路線でパークアンドライドを計画 (パークアンドライドを利用すると答えたのは43人)
- 職場でのMMセミナーの開催を検討中
- 通勤ルートのアンケートを利用した、トラベルフィードバックプログラムなどの実施を想定

◆アンケート用紙



自宅から職場までの通勤ルートの調査用紙
トラベルフィードバックプログラムに利用

◆集計結果

